

市民の皆様とともに

さらなる住みよさを求めて

守谷市長 会田 真一

2014年1月



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

今年は、景気の回復が確かなものになることを節に願うものであります。

さて、昨年6月に公表された経済誌の「住みよさランキング」において、守谷市は全国790都市の中で総合評価3位に選ばれ、2008年の総合1位に次ぐ高い評価をいただきました。また、一昨年は、「質の高い環境・景観の保全・創造による住みよいまちづくり国際賞」（通称リブコム）において銀賞を獲得し、国際的にも本市のまちづくりが高い評価を得ることができました。今後は、このリブコムでの金賞獲得を目指すとともに、さらなる住みよさを求めてまちづくりを進めてまいります。

まず教育や子育て支援については、一昨年に小中学校校舎の耐震化率100%を達成し、昨年は全教室へのエアコン整備が完了しました。今年度は、トイレの洋式化改修工事に着

手するとともに、松並土地区画整理事業の入居開始に伴う児童数の増加に対応するため、黒内小学校校舎の増改築工事に着手します。また、昨年11月に、学校法人「開智学園」による（仮称）開智望小学校「設置計画」が県において承認され、平成27年4月の開校を目指して準備が進められています。市においても、さらなる教育の充実に取り組み、市全体の教育水準の向上を図ってまいります。高齢者福祉については、出前サロン、シルバーリハビリ体操の普及促進や、地域包括ケアシステムの構築に取り組みとともに、民設民営による介護付き有料老人ホームや特別養護老人ホーム等の整備を促進してまいります。

安全・安心のまちづくりについては、警察や防犯団体と連携し、防犯体制を強化するとともに、市内に防犯カメラを設置し、犯罪の抑止を図ってまいります。また、昨年11月に市民の皆様、関係機関のご協力のもと、暴力団の追放・排除を目的とした「守谷市暴力団追放推進協議会」

が発足しました。この目的を達成するため、市を挙げての活動を展開していく必要がありますので、今後とも市民の皆様のご協力をお願いいたします。

協働のまちづくりについては、昨年末に創設しました「協働のまちづくり基金」を活用し、市民の皆様のまちづくりへの取組みに対して、積極的に支援してまいります。

都市計画道路の整備促進については、昨年、郷州沼崎線が全線開通し、守谷駅周辺の交通の利便性が格段に向上しました。今年度は、坂町清水線の県道野田牛久線までの開通を目指し、さらなる交通の利便性向上に努めてまいります。

地域福祉活動計画については、昨年度は、地区ごとに当計画に基づく取組事項をご検討いただくとともに、さまざまな取組みを行っていただきました。今後も、各地区での取組みが着実に実行され、地域の皆様が住み慣れた地域で、安心して暮らすことができましよう、市としても「地域担当職員制度」を定着させると

もに、地域福祉活動助成金制度により各地区への支援を行ってまいります。そして再び「住みよさ日本一」を目指してまいりますので、皆様、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

守谷市民憲章

私たちは、利根・鬼怒・小貝の清流と豊かな緑につつまれた歴史と伝統に輝く守谷の市民です。

この郷土を愛し、健康で明るく住みよい文化都市を目指して、ここに市民憲章を定めます。

- 一、水と緑に親しみ、自然を愛し、美しいまちをつくります。
- 一、豊かな心を育て、体をきたえ、健康なまちをつくります。
- 一、教育文化を高め、個性をのび、うるおいのあるまちをつくります。
- 一、明るい家庭をきずき、きまりを守り、平和なまちをつくります。
- 一、互いに助け合い、責任を果たし、生きがいのあるまちをつくります。

（平成2年11月制定）
（平成14年2月継承）